

### 第3章 健幸(けんこう)長寿のまち 第1節 健康づくり

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業の縮小を余儀なくされ、事業のPRや広報も難しい状況であったが、GoToラベルキャンペーン等、時事情報を常に収集し、問い合わせがあった際には適切に回答できるよう対応した。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	78千円	23千円	バスポート券利用者数	バスポート券を利用した延べ人数	目標設定の考え方・根拠				所沢バスポート券利用者数を指標とする。目標値については、事業を継続して推進するため前年度実績を超える数値を目標としている。	コロナ禍において、社会情勢の変化に速やかに対応できるよう、情報収集やシミュレーション等を行った。			
	市民保養施設利用事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)			実績	R1目標			R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	576人	414人	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言により、外出自粛や県を跨いでの移動自粛が求められたことから利用者が大きく減少した。
		所沢バスポート券要綱	78千円	25千円	R2実績	143人					143人		職員の事務負担を考慮するとともに、インターネットの普及等に伴い市が行う事業としての役割は相対的に少なくなっていることから、今後の事業のあり方について検討していく。		
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1目標	R1実績							どのよう貢献したか		
		市民の健康増進と心身のリフレッシュを目的とする。市が協定を結ぶ温泉地の旅館組合や単体の宿泊施設で宿泊料金の優待割引(10%)等を受けられる所沢バスポート券事業を実施している。令和2年度は、四万温泉、水上温泉及び石和温泉の3か所の保養地と草津、土肥、魚沼、十日町、秩父にある宿泊施設と協定を結んでいる。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績							年齢や性別を問わず、心身のリフレッシュと健康の増進に寄与した。		
期間	H4~	0.39人	0.00人	0.12人	0.00人	980千円	150人								
保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	本計画は、「計画庁内推進会議」及び「計画推進委員会」において意見を伺いながら適正な進行管理を行っている。計画の各章項目に設定した目標指標達成度のA以上の割合	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	995千円	803千円	①計画推進委員会開催日数 ②計画庁内推進会議日数 ③目標指標達成度(Aランク以上の割合)	計画の各章項目に設定した目標指標達成度のA以上の割合	目標設定の考え方・根拠				本計画における、保健・医療・介護・福祉分野の充実を図るために適した目標を設定し、計画を効果的、効率的に推進する。	本計画の評価にあたっては、年度末に「計画取組状況評価シート」を作成し公表している。この「評価シート」は作成当初、細かく複雑なものであったため、様式を簡略化し、市民にもわかりやすくなるよう見直しを図った。			
	所沢市保健医療計画推進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)			実績	R1目標			R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	100.0%	23.3%	本計画の目標は、もともと高く設定しているものや現在改善を図っているものなどがある。また、医療分野は、長期間を考えなければならないものがあるため、達成するにはなかなか難しいものがある。いずれにしても、目標達成に向け、継続して努力していく必要がある。
		所沢市保健医療計画 第6次所沢市総合計画前期基本計画	780千円	655千円	R2実績	審議中					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		小児科救急病院群輪審制において、現在、担当医不在となっている日の解消に向けて、埼玉県を中心に狭山市、入間市とともに連携し協議を続ける。		
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1目標	R1実績							どのよう貢献したか		
		本計画は、第6次総合計画前期基本計画の課題である「元気でいきいき「健幸(けんこう)長寿のまち」の実現に基づき、市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちを目指しております。そのため、本計画では、市や関係機関などが実施している保健・医療分野等の取り組みを整理することで、保健医療施策が効果的、効率的に推進できるよう努めるものです。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績							当市の保健・医療に関する施策を一体的に推進する保健医療計画を策定・推進することにより、市民の健康づくりに貢献した。		
期間	H28~	2.10人	0.00人	1.38人	0.00人	11,272千円	100.0%								
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業開始後、月毎の参加者の平均歩数は伸びたが、目標値をやや下回った。今後も、参加者が継続して楽しくウォーキングが続けられるよう取組を進めていく。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①参加者数 ②一日の平均歩数	健康マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	目標設定の考え方・根拠				生活習慣病予防に有効な1日の平均歩数が8,000歩であるという中・条研究の成果を参考に指標としている。	・参加者の継続意欲の向上を目的として、当市独自のポイント及び景品を設定している。 ・事業開始時点での参加者を対象に、身体状況や健康づくりに対する意識等について、アンケート調査を実施した。			
	トコトコ健幸マイレージ事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)			実績	R1目標			R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			健康マイレージ事業の参加者の1日平均歩数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛が呼びかけられたことから、歩数が伸びなかったと考える。
		特になし	17,079千円	15,555千円	R2実績	7,242歩					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		本事業を通じて多くの市民の健康維持増進を達成できるよう、さらなる参加者の獲得に向け周知に努めるとともに、参加者が長期間に渡って活動を維持できる取組を進めていく。また、外出自粛の長期化により市民の運動不足に伴う体力・身体機能の低下が懸念されることから、市ホームページに掲載している簡単ストレッチや筋力トレーニングの動画の周知を行うなど、自宅でできる健康づくりの提供に努めたい。		
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1目標	R1実績							どのよう貢献したか		
		本事業は、市民一人ひとりが健康を実感しながら地域で安心していきいきとした生活をおくることのできる「健幸長寿のマチ所沢」を目指す一環として実施するもので、従来の「トコトコ健幸マイレージ事業」から、埼玉県が実施する「コバト健康マイレージ事業」に令和2年7月から参加することで、リニューアルしたものである。歩数計、スマートフォンのアプリで歩数を記録しながら、日常的にウォーキングを行ってもらい、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりへの取組を支援するものである。また、楽しみながら続けられるよう、市の独自ポイントを付与、抽選により景品が当たる仕組みを取り入れている。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績							日常的にウォーキングを行ってもらうことで、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりへの取組を支援した。		
期間	R2.7~	0.00人	0.00人	2.09人	0.30人	17,071千円	①6,663名 ②7,242歩	8,000歩	8,000歩						
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	子育て世代包括支援センター「かるがも」を開設し4年経過。妊娠届出時や産科医療機関、乳児家庭全戸調査項目を設定。※産後十分なケアであったの質問に「はい」と回答した数÷4か月児健診受診者数	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	11,997千円	9,930千円	①電話、窓口、面接、訪問等による相談 ②マタニティコール ③母乳相談 ④産後ケア(宿泊型)	妊娠・出産について満足している親の割合	目標設定の考え方・根拠				4か月児健康診査票から「健やか親子21(第2次)」計画の乳幼児健康診査におけるアンケート調査項目を設定。	「かるがも」で赤ちゃん和妈妈に必要な防災グッズの展示及び専門相談員と面談し「かるがもプラン」を作成した妊婦の方に葉酸米、柔軟剤を配布するなど、「かるがも」での妊娠届出の増加を図った。			
	妊娠・出産つづけてサポート事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)			実績	R1目標			R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	83.0%	82.9%	目標値は未達成であるが、妊娠期から子育て期にわたる支援の強化等により、満足している親の割合は増加傾向にある。
		子ども・子育て支援法	16,563千円	13,129千円	R2実績	80.0%					事業の充実を図り、満足している親の割合を増やすことを目指す。				
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1目標	R1実績							どのよう貢献したか		
		核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域で出産、子育てを担う母親の育児負担が増えていることから、妊娠前から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に円滑に対応する。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績							妊娠中及び出産後の生活等について助言を行い不安を軽減できるように努めた。		
期間	H28~	1.44人	0.00人	2.42人	4.00人	19,767千円	①3,696件 ②1,009件 ③0件 ④60日	83.0%							

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	母の育児不安など早期に対応することは乳児の健全な育成、虐待防止に繋がっており今後も継続して実施していく必要がある。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	17,710千円	12,445千円	①出生児数 ②訪問指導件数(目視者)	訪問指導実施率(目視率)	R1目標 R1実績				R2目標値が未達成の理由・分析				
	根拠法令	17,892千円	13,241千円	R1目標			93.0%	91.3%							
	根拠法令	児童福祉法、母子保健法、所沢市母子保健事業実施要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	17,892千円	13,241千円	R2目標							93.0%			90.3%	
	期間	H7~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①2,110人 ②1,906件	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析							
	2.18人	0.00人	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
18,120千円	3.00人	3,06人	3.00人	24,994千円	3.00人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本事業の開始をきっかけに不妊の検査を受けた方もおり、不妊を心配されている方が検査を受ける後押しになっている。また、高額な不妊治療費用の負担軽減を図った。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	11,398千円	8,569千円	①不妊・不育症検査の申請件数 ②不妊治療の申請件数	申請件数(合計)	R1目標 R1実績				R2目標値が未達成の理由・分析				
	根拠法令	11,379千円	10,817千円	R1目標			210件	234件							
	根拠法令	埼玉県早期不妊検査費・不育症検査費助成事業実施要綱、埼玉県早期不妊治療費助成事業実施要綱等	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	11,379千円	10,817千円	R2目標							240件			261件	
	期間	H29~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①211件 ②50件	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析							
	0.54人	0.00人	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
4,488千円	0.40人	0.15人	1.00人	1,225千円	1.00人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	検査費用の負担軽減を図ることで多くの新生児が検査を受け、早期発見により適切な処置を講じることができた。	R2年度に改善した点	1. 貧困をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①契約医療機関における助成券使用件数 ②①以外(償還払い)対象件数	聴覚検査助成券使用件数(①、②の合計)	R1目標 R1実績				R2目標値が未達成の理由・分析				
	根拠法令	7,345千円	5,414千円	R1目標			1,920件	1,787件							
	根拠法令	「新生児聴覚検査の実施について」(平成19年1月29日雇児母第01290021号厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知)	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	7,345千円	5,414千円	R2目標							1,920件			1,787件	
	期間	R2~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①1,605件 ②182件	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析							
	0.00人	0.00人	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
0千円	0.00人	0.31人	0.00人	2,532千円	0.00人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響から、感染を心配する声や受診を控える保護者が増加した。生後4か月の時期は疾病、異常(発達の遅れ、障害を含む)を早期に発見し、適切な指導をすることが重要であるため、6月から集団健診から個別健診に移行し市内協力医療機関で実施した。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①対象者数(市外で受診した者を除く) ②受診者数	個別健診受診率	R1目標 R1実績				R2目標値が未達成の理由・分析				
	根拠法令	12,620千円	11,157千円	R1目標			95.6%	93.0%							
	根拠法令	母子保健法第13条	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	12,620千円	11,157千円	R2目標							93.0%			93.0%	
	期間	R2.6~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①1,897人 ②1,765人	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析							
	0.00人	0.00人	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
0千円	0.00人	0.04人	0.00人	327千円	0.00人										